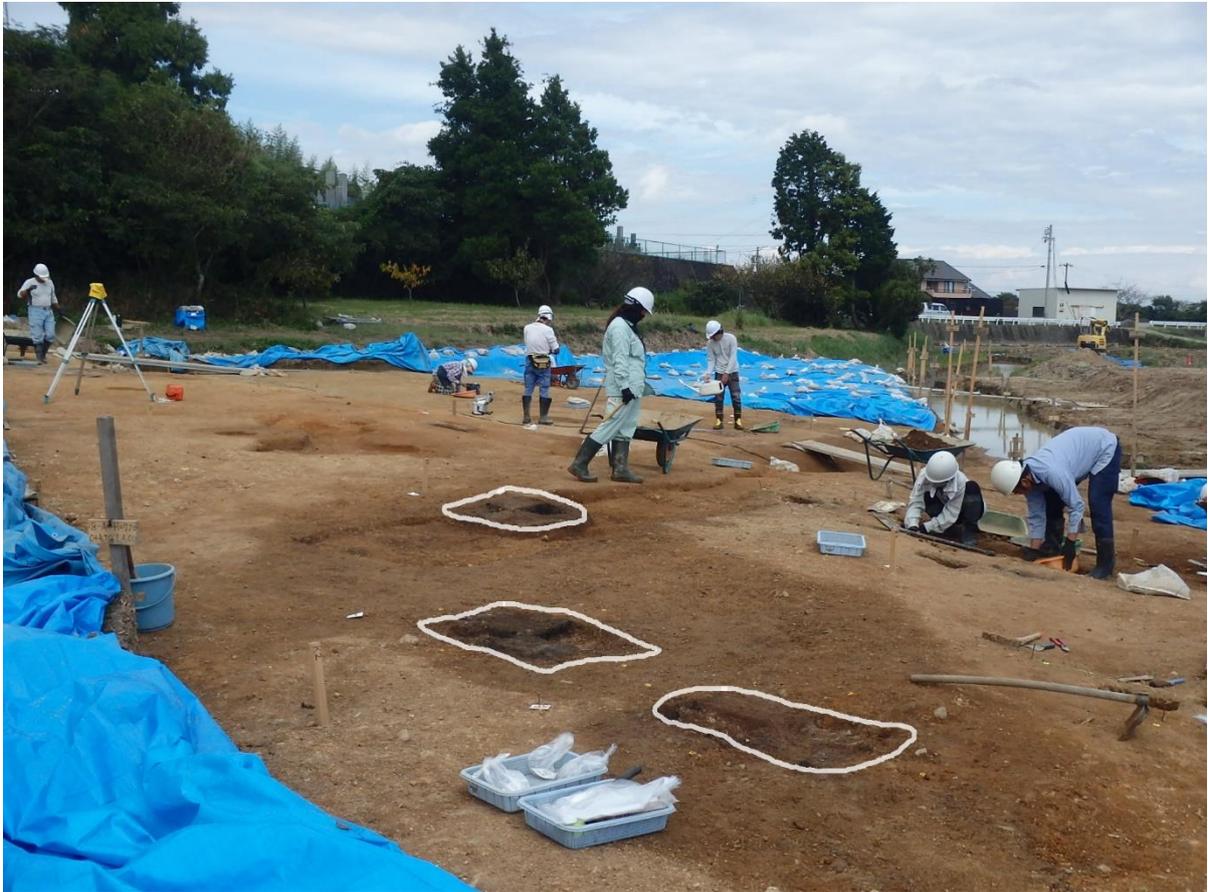


やまのこし 山ノ腰A遺跡・みずぶか 水深遺跡 (その2)

(水深遺跡) 表土が除去され、遺構の検出がはじまりました

水深遺跡の発掘調査が始まり、重機で表土を除去しました。地表から40 cm～60 cm掘り下げたところで、古墳こふんや古代の掘立柱建物ほったてばしらだてもの、中世の火葬墓かそうぼが見つかりました。遺物は、耳環じかん(イヤリング)や銅銭どうせんなどが見つっています。

①



遺構検出の様子

表土掘削が終了した直後の様子です。ここから遺構の確認がはじまります。奥に見えるブルーシートの下付近で、掘立柱建物ほったてばしらだてものの柱跡が見つかりました。白い線で囲われているのが火葬墓です。(写真①)

②



遺構掘削の様子

遺構を検出後、遺構の掘削を行います。スコップ、時にはスプーンや刷毛、竹串などを使いながら、丁寧に掘りすすめます。矢印の部分では、古墳時代の須恵器の破片が見つっています。(写真②)

③



火葬墓の遺構

火葬墓は、平面形が隅丸で、写真右下（丸囲いの部分）のように炭化物が見えています。さらに掘りすすめると骨の一部や遺物が見つかるのではないかと考えられます。（写真③）

④



銭貨が出土しています

調査区南部の遺構からは、銭貨が30枚ほど出土しました。こちらは鎌倉から室町期のものではないかと思われます。（写真④）

発掘調査はこの先、遺構の時代の特定や遺物との関連を検討しながら進めていく予定です。今後の成果にご期待ください。

問い合わせ先

〒515-0325

三重県多気郡明和町竹川 503

三重県埋蔵文化財センター

担当：萩原・長谷川・佐藤

電話： 0596-52-7028